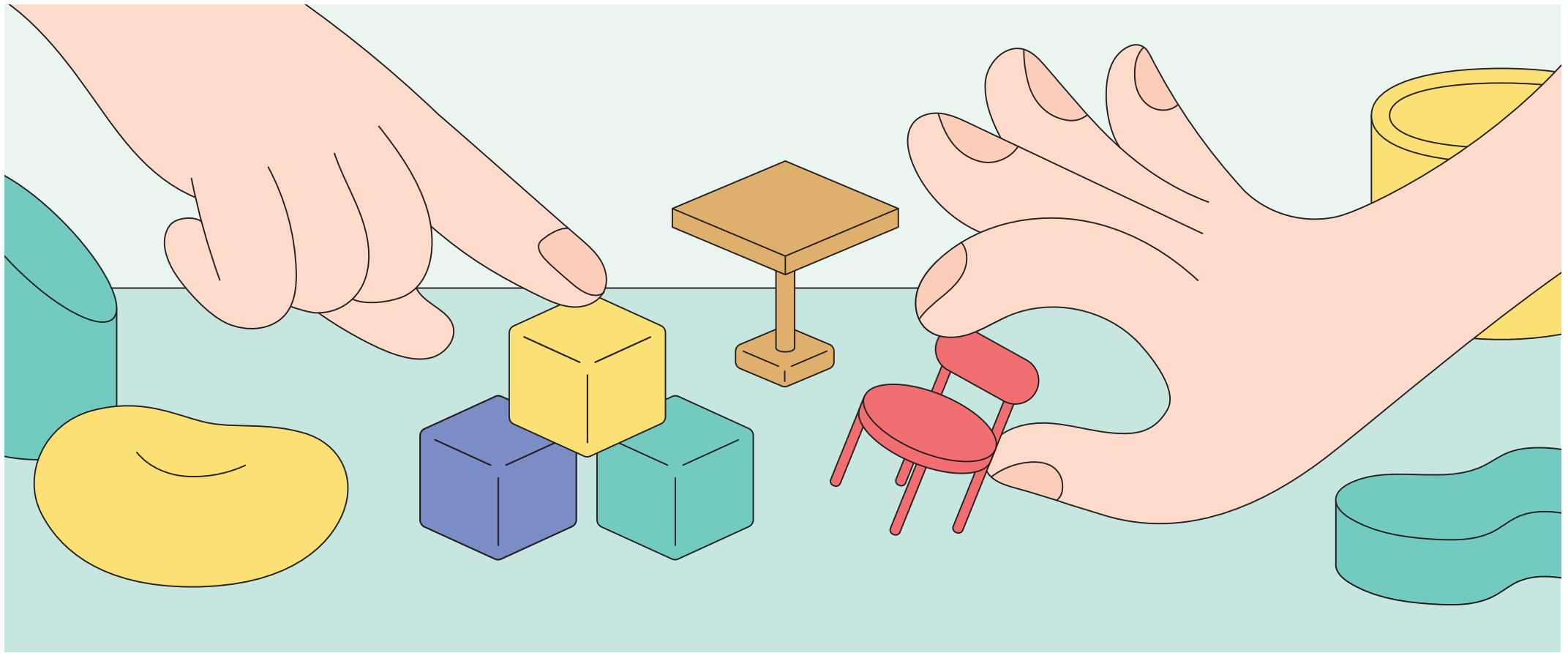




Sustainability
Transformation
Workplace

SXWPP

vol. 2
2025.06

次の100年をつくる
ワークプレイス

Workplace for
the next 100 years

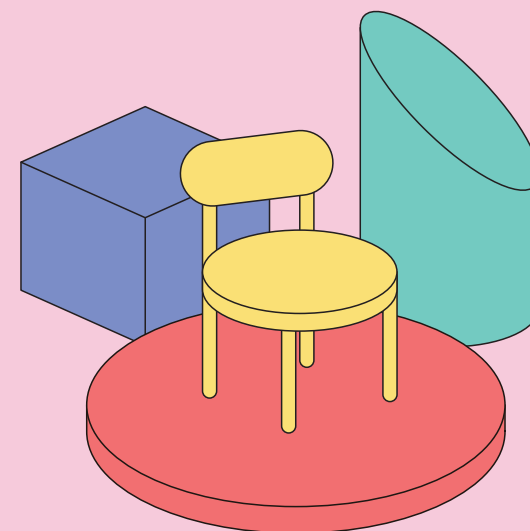
KOKUYO × SEMBA

Introduction

今、世界の潮流は、サステナビリティ（持続可能性）を経営の中心に据え、社会や環境に配慮しながら競争力や収益性も高めることが求められる、Sustainability Transformation（以下SX）時代を迎えています。私たちコクヨ・船場は、「次の100年をつくるワークプレイス」をテーマに、SX時代における企業のあるべき姿やワークプレイスの可能性について考慮し、独自の視点でまとめた提言書『SXWP』（※1）を2024年5月に発刊しました。これまでも、時代と共に変化する働き方を反映して、その役割を変化・させてきたワークプレイス。SX時代においては、社員が変革の必要性に「気づき」、行動変容を起こし、その行動が有機的につながることでシナジーを「築く」場であることが求められるでしょう。『SXWP』では、そのような場を実現するために必要な機能や要素、考慮すべき項目を設定し、空間ア

イデアとして提言しました。今回発刊するこの『SXWP vol.2』では、vol.1 発刊から1年が経過した現在までの社会の変化をSX視点で読み解きます。また、私たちが考えるSXWPの参考となる先進的な企業の取り組みを取材し、より具体的な施策やその効果を考察していきます。今後ますます、社会課題の解決と経済活動の両立が企業の成長・発展に不可欠になります。その中で、固定観念や過去の成功体験にとらわれず、ビジネスモデルを大胆に変革させていくためにも、ワークプレイスの改革は有効です。単なる働く場から、ワーカーの意識と行動を変えるトリガーとして、また自由な発想を生む新たな価値創造の場として、SX時代に求められるワークプレイスのあり方を考え続けるとともに、SX時代を切り開き、挑戦し続ける企業をサポートしていきたいと考えています。

HOW TO MAKE A WORKPLACE IN THE SX ERA



SXWP

vol.2

Chapter 1	SXWPの現在地	持続可能性を支える非財務情報の役割 人的資本への新しいアプローチ SX時代に求められるオフィス「SXWP」とは
Chapter 2	ケーススタディ	Interview Index Case1 パーバスの実現に向けた社員の「やりたい」が叶うオフィス Case2 見えない障がいにも配慮したバリアフリーオフィス Case3 まち全体をオフィスととらえて地域と共に成長 Case4 「完成された未完」をテーマにオフィスを通じて融合と進化を実現 Case5 地球がよるこぶ、遊びをつくる共創のゲートウェイ SXWPのヒント
Chapter 3	コラム	企業の見えない価値をいかに視るのか - 開示の必要性が高まる企業の見えない資本 - PBRは長期的な企業価値を図る「ものさし」 ワークプレイスは非財務資本が躍る舞台装置
Chapter 4	さあ、踏み出そう	Our project
Epilogue	おわりに	ワークプレイスの再定義、新たな本質の発見

THE CURRENT STANDING

続きをご覧になりたい方は下記よりお問い合わせください。

https://www.semba1008.co.jp/ja/contactus/document_request_2

Chapter 1

SXWPの現在地

Copyright © KOKUYO Co., Ltd. All rights reserved.
Copyright © SEMBA CORPORATION All rights reserved.

SXWP